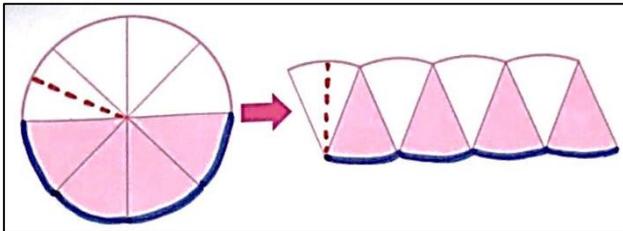


効果のあった実践事例

学年	第6学年	教科等	算数科
単元・内容	「円の面積」 円の面積を求める公式づくり		
○ ねらい	・ 円の面積を等積変形させ、円の面積の求め方を公式にまとめ、面積を求めることができる。		
○ 手立て	円からおうぎ形を作成し、平行四辺形へ変形する動きを視覚化して理解させる。		
1	面積を用いて求めることができる既習の図形と算数用語を提示する。		
2	画用紙で作成したおうぎ形（円を半径で8分割）を個人に渡し、既習の図形に変形させる。		
3	おうぎ形を組み合わせてできる図形を確かめる。		
4	デジタルコンテンツを使っておうぎ形に分割したものを平行四辺形に変形する動画を見せる。		
5	平行四辺形の底辺と高さが円のどの部分にあたるかを動画と手元のおうぎ形で確かめるようにする。		
6	平行四辺形の底辺と高さが円のどの部分にあたるかをプリントに色を付けて区別するようにする。さらに、円に関する用語を確認する。		
7	平行四辺形の面積を求める公式をもとに、円の面積を求める公式を考えるようにする。		
			
○ 児童の変容	1 円を変形させた平行四辺形の底辺と高さが円のどの部分にあたるかを指でなぞったり、色鉛筆で色分けをして示したりすることで、底辺と円周の半分が同じであることを理解することができた。同様に、高さと同半径が同じであることも理解できた。		
2	円や平行四辺形用語を確認し、繰り返し表現することで、平行四辺形の面積を求める公式から円の面積を求める公式づくりができた。		
○ 実践者のコメント	ICTを用いた視覚支援は有効であった。変形した平行四辺形の底辺と高さが円のどの部分に当たるかについては、見るところを焦点化することで捉えることができた。円の面積の公式を作る過程で、算数用語を使いながら、図形のどの部分に当たるかについて色分けをして示し、繰り返し確認することで、理解を深めることができたと思う。		